

平成27年4月

関係者各位

石川県バスケットボール協会
理事長 青木 隆

バスケット王国いしかわ創成10年プロジェクト

時下、関係者各位におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当協会の各事業に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標題にありますようにバスケット王国いしかわ創成10年プロジェクトの一環とし、「いしかわバスケットボールフェスティバル」をこれまでに2回実施することができました。

指導者の育成と協力体制の構築こそが、いしかわ飛躍の基礎になることは間違いありません。その中で①指導者育成と地域コミッティーの構築 ②代表強化 ③選手の発掘・育成の「三位一体の強化策」を格子とし、石川独自の強化事業として定着していくことを目指しております。

今年度は、当初より夢に描いてきましたいしかわ総合スポーツセンター6面を使用し、全カテゴリーが一堂に会したフェスティバルを実施致します。そこで、これまで実施してきた形とは若干の変更を検討しなければなりません。

下記の主旨のもと、今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1.主旨

今プロジェクトは、石川県バスケットボール協会独自の強化事業の一環と位置づけ、

- ①指導者育成と地域コミッティーの構築
- ②代表強化
- ③選手の発掘・育成

の「三位一体強化策」を格子とし、その一環指導を通して、毎年ジュニアオールスターはベスト4以上、国体少年種別ベスト8以上の成績を残し、全日本チームに本県出身選手が1名は選出されることを目標に、バスケット王国石川を創造することを目指すものである。

2.強化方針

「全国の高さ」に「石川の平面」が凌駕する。本県は他県に比べると身長や体格が劣ることは事実である。しかしながら、1対1の判断力や突破力、その1対1の崩しと合わせの動きからのシュート力、堅守なディフェンスからファーストブレイクへ持ち込むトランジションのスピードが石川のストロングポイントでもあり、他県が石川を脅威と感じる部分であることに間違いはない。

従って、石川のバスケットボールを構築する上で、

- ①1on1(合わせを含む) ②Transition ③Man to Man Defense

の3つを柱とした一環指導を図りたい。

3.Team石川強化の日

フェスティバル当日の2日間を「Team石川強化の日」と設定し、各カテゴリーでのカップ戦等を原則禁止(3年後には「原則」がとれるように各カテゴリーで日程調整の努力をしていただきたい)し、フェスティバルの運営や審判協力、指導者講習、応援、観戦等に全面的に協力するものとする。また、この大会と練習会は石川県バスケットボール協会の強化事業の一環として位置づける。特に、Uカテゴリーや国体等の選抜チームを結成しなければならない場合はこれらを選考会とする。選手を送り出しているチームの指導者は時間が許せば大会や練習会に参加し、コーチミーティングに加わりよりレベルの高い選抜チームになるようコーチ陣にアドバイスをしていただきたい。